## 東海北陸社会教育委員協議会連合会表彰を受賞！

### 社会教育委員　野村千鳥さん（南方）

平成14年4月から神戸町社会教育委員として18年以上にわたり青少年健全育成や学校・家庭・地域社会の連携に尽力されています。

また、地区公民館運営委員会では、社会教育委員として地区公民館活動の推進に対して指導力と行動力を発揮し、地域に密着した事業を提言するなど、生涯学習の振興に多大な貢献をされています。

なお、野村さんは、少年補導員としても、少年の非行防止・青少年の健全育成活動をされています。

10月23日

## 花のある暮らし応援！　寄せ植え講習会を開催

町民と一体となってまちづくりを推進する“神チャレンジプロジェクト2020”の取り組みとして、賑わいのあるまちづくり協議会が花のある暮らしづくり事業“寄せ植え講習会”をひよしの里で開催しました。

これは、新型コロナによる自粛要請の中、花卉を飾ることによって、ストレスを緩和し、町の活性化を図るものです。

講師は花夢館・神戸店（柳瀬）のスタッフ吉田亜紀子さんとイシハラ花店（本町）の髙田啓子さんが務め、参加者は思い思いに花をプラスチックの鉢植に詰めていきました。作品の一部は中央公民館とばらの里に飾ってあります。

11月7日・8日

## 自宅を会場にして書と生け花の展示会を開催

書道と生け花の展示会「書と花の彩」が書家の清水澄園さん（西保）の自宅および隣接する書道教室で、開催されました。この展示会はコロナ禍で作品の展示発表の機会がなくなったことから、町内で生け花教室を開く飯田静世さん（東方）とともに企画されました。

書と生け花などの作品、約100点が展示され、訪問者は「暮らしの中に溶け込む、落ち着いた書と花はとても美しいものでした」と話されました。

# 人権について考える　人権啓発活動

人権についての正しい理解を広めることを目的とした「大垣人権啓発活動地域ネットワーク協議会事業」で、北小学校が今年度の人権推進校に選ばれ、2つの活動が行われました。

## 11月5日　車いすバスケふれあい教室

車いすバスケットチーム「岐阜SHINE」の選手との交流会に、5.6年生が参加しました。

児童らは、普段の生活で困ることや車いすバスケのルール等について積極的に質問し、車いすでの生活や障がい者スポーツへの理解を深めました。選手のプレーも見学し、車いすをぶつけ合う迫力ある姿に「車いすに乗った状態でも素早くボールをさばいていてすごかった」と話してくれました。

## 11月10日　花から学ぶ命の大切さ

命の大切さや思いやりの心を学ぶことを目的とした花植え運動に全校児童で取り組みました。

「あいさつを大切にすることが、いじめ等のない学校づくりにつながる」と考え、クラスごとであいさつについての目標を書いた鉢とプランターに、ビオラ400株を丁寧に植えました。人権擁護委員の今津礼子さんは「学年を超えて助け合って花を植える経験から、優しい心が育つと嬉しい」と話されました。

この鉢を各家庭に持ち帰り、毎日世話をすることで小さな命を大切にし、あいさつや思いやりの心を育みます。

## 10月29日・11月12日　子どもたちを守る　通学路安全合同点検

町や学校、道路管理者、警察、自治会などから構成される「神戸町通学路安全推進協議会」が、通学路の危険箇所に対する対策について協議するため、現地点検を実施しました。

当日は、現地確認をした後、検討会で歩道整備やカラー舗装、通学路看板の設置などの安全対策について協議しました。